

環境整備 P L A N

基本設計	コンセプト（作りたい環境）
	児童が自ら学びを選択・調整し、必要な情報や仲間と主体的につながりながら、自分らしい学びを実現できる環境を整える。また、多様な個性や考え方を尊重し、互いの違いを価値として認め合える教室を目指す。
	子ども達の意見
	(1)子どもから出された意見等（整備したい環境、考えなど）
	- これまで不便だった机の小ささとくっつけやすいことをクリアしているから、動く（キャスター付き）机が必要。 - ホワイトボードは静かに学びたい人にもみんなで学びたい人にも使えるし、先生が作ってくれている体験コーナーにも使いやすいからたくさんあったほうがよい。 - イスはキャスター付きは私たちは使いやすいかもしれないけれど、低学年が足がつきにくくて集中できないかもしれないからスツールがよい。 - カーベットは床の色も変えた方がみんなが集中して勉強しやすいから変えたい。 - 大きなプロジェクターがあれば学年集会にも使いやすいし、先生も話しやすいし、みんなも発表をしやすい。
基本設計	(2)子どもの意見を反映した環境（特に子どもの意見を反映している部分）
	キャスター付きの机・スツール 一人で学ぶときもみんなで学ぶときも様々な使い方で使いやすくなるように、教室で使っている机よりも広く、キャスターがついていて動かしやすい机がよい。スツールは、低学年も高学年もみんなが使えるものがよい。 ホワイトボード これまで数は少なかったが使った経験から、すぐに消せる、書きやすい、友だちと意見を交流しやすい、パーテーションになって区切ることができるなど様々なよさがあることからもう少し大きなホワイトボード数を増やして設置していきたい。 プロジェクター 多様な用途（マイブラン学習、みんなで学ぶ一斉授業、学年集会など）で使えるように大きく映し出せてみんながすぐに使えるプロジェクターがあるとよい。 カーベット 今のカーベットでは剥がれているところも多く安全ではないこと、色が地味で学ぶ意欲にはつながらないことから、カーベットを新しくし、みんながそこで学びたいような安全で学びやすい床にしていきたい。
	ネーミング（みんなで呼ぶ名前）
	にじいろルーム

整備内容	工事等を伴う整備リスト		
	項番	工事内容等	
	工-1	天吊り型プロジェクター設置作業	
	工-2	スクリーン設置工事	
	工-3	カーベット張り替え工事	
	工-4		
	工-5		
	環境整備の参考としている物品リスト		
	項番	品名・型番等	個数
	物-1	【GAIA】スツール Pick GORZ-STSU0303	40
	物-2	【ウチダ】キャスター付き個人用スタッキングテーブル commune CM Y894572 (7552)	40
	物-3	【ウチダ】グループボード S-120-N	10
	物-4	【EPSON】プロジェクター EB-1485FT	1
	物-5	【ウチダ】個人用上下昇降テーブル MEY-8945YT (8552)	1
	物-6		
	物-7		
物-8			
物-9			
物-10			

学校名	川西市立東谷小学校	校長名	山口 紀子
-----	-----------	-----	-------

完成イメージ



本校はパイロット校として、多様な学びを支える教室環境を整備し、その実践を通して各校の参考となる教室づくりを推進する。そのため、以下のような多様な学習場面を想定しそれぞれの学びを支える什器や設備を計画的に整備する。

【一斉授業】

従来よりも天板の大きいテーブルを配置し、教科書やノート、ICT端末などを広げながら学習できる環境を整える。可動式のテーブルを採用することで、授業内容や活動に応じて柔軟にレイアウトを変更し、一斉指導から話し合い活動まで円滑に移行できる。また、大型スクリーンを活用し、教材や資料を見やすく提示することで、児童一人一人の学びやすさを高める。

【協働的な学習・探究的な学び】

可動式テーブルを活用し、学習内容や人数に応じて柔軟にレイアウトを変更できる環境を整備する。また、スツールや移動式ホワイトボードを活用することで、少人数での話し合いや考えの可視化、意見交流を促進する。協働的な学びだけでなく、学習成果の発表や共有の場としても活用し、主体的・対話的な学びを支える。

【マイブラン学習】

可動式テーブル、スツール、移動式ホワイトボードなどを組み合わせ、児童が学習内容や目的に応じて最適な学習環境を選択できる教室空間を整備する。一人で集中して取り組む場、仲間と対話しながら考えを深める場、考えを可視化・共有する場を必要に応じて使い分けることで、主体的に学習を調整しながら学ぶ姿を支える。

【学年集会・学年行事など】

可動式の什器の利点を活かし、教室の中央に大きな空間を生み出す。これまではプロジェクターで投影するサイズに限界があり、全ての児童に対して効果的に資料を見せることができなかったが、大画面で投影できる環境を整備することで学習効果の高まりが期待できる。